

当院で法医解剖を施行された方のご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当教室では、以下の医学系研究を実施しています。この研究では、普段の法医解剖で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えのご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた方の試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、亡くなられた方およびご家族に不利益が生じることは一切ありません。

死後診断におけるペントラキシン 3 の敗血症マーカーとしての有用性の検討

1. 対象となる方

2022 年 1 月～2024 年 12 月の間に法医解剖を受けた方で、以下の両方の条件を満たす方

1. 解剖時に感染症の存在を疑われ、もっとも汎用されている炎症マーカーである C 反応性タンパク（CRP）を測定した方
2. 死後 6 日以内の方

2. 研究責任者

研究代表者

奈良県立医科大学 法医学教室 教授 粕田 承吾

研究分担者

奈良県立医科大学法医学教室	大学院生	田村	修平
	講師	工藤	利彩
	助教	勇井	克也
	大学院生	蓮輪	恭子
	大学院生	井上	伸

3. 研究の目的と意義

この研究は、血液検査の結果を解析し、死後敗血症診断におけるペントラキシン 3 の有用性を明らかにすることを目的としています。これによって、死後の診断が困難であった敗血症における新たなバイオマーカーの確立に繋がることが期待され、法医解剖の精度の上

昇が期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す試料・情報を対象者の解剖記録から収集し、敗血症とペントラキシン 3 などの血中濃度について、統計解析を行います。解剖時に感染症の存在を疑われ、炎症のバイオマーカーである CRP を測定した方が対象となります。すでに、敗血症の死後バイオマーカーとして確立されている、プロカルシトニンとプレゼプシンの濃度を測定します。さらに、本研究の対象物質であるペントラキシン 3 の濃度を測定し、ペントラキシン 3 が敗血症における死後のバイオマーカーとして有用かを検討します。

5. 使用する試料・情報

試料：血液

解剖情報：診断名・年齢・性別・血液検査結果（CRP 濃度）・病理組織結果・死後経過時間

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる方の個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 法医学教室 粕田 承吾

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL：0744-22-3051 (代表)

E-mail：legalm@naramed-u.ac.jp